



Metals Focus – Precious Metals Weekly

貴金属ウィークリー 第104号 2024年11月30日

排出量

『PGM ESG Focus』のPGM生産会社の2023年のスコープ1と2の排出量は前年と変わらず、2万2818 kt CO₂e。

水の利用

『PGM ESG Focus』のPGM生産会社の2023年の水資源利用量は前年比で9%減り409GL。水の消費量も6%減って280 GL。

企業統治

『PGM ESG Focus』のPGM生産会社の2023年の政府への支払いは前年比で30%減って53億ドル。地元資材調達費も1%減って55億ドル。

『PGM ESG Focus 2024』の発表

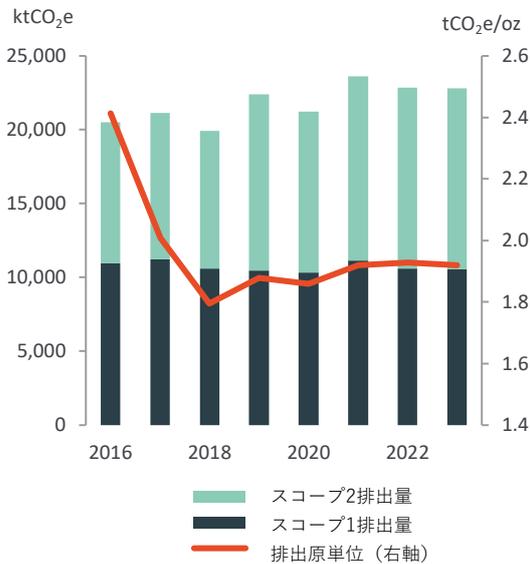
PGM生産会社の環境・社会・企業統治 (ESG) に関する我々の年間レポート、『PGM ESG Focus 2024』が、11月28日にロンドンで行われたイベントの席で発表された。これは2015年から2023年を対象期間として世界の PGM 生産の 85% 以上を占める大手の PGM 生産会社5社を ESG の観点から幅広く分析したもので、本稿では同レポートの主要点を紹介したい。

PGM 鉱山会社のスコープ1と2を合わせた2023年の温室効果ガス排出量は前年とほぼ同じ

増えすぎると地球温暖化を加速させてしまう温室効果ガス(GHG)の企業活動による排出量は、スコープ1・2・3に分類して捉えられる。スコープ1は直接排出量、つまり生産を行う自社の施設における自動車の排気や自家発電からの排出量。スコープ2は外から供給された電力を使うことで間接的に排出された温室効果ガスの量。PGM 生産では一般的にこのスコープ1と2を合わせたものを温室効果ガス排出量とする。スコープ3とはバリューチェーン全体を通じて間接的に排出される温室効果ガスを指し、例えば購入された製品や商品の利用に伴う排出量で、鉱山業の場合はこれを含めて温室効果ガスの排出量を語ることはあまりない。

今回我々のレポートで取り上げた大手5社のスコープ1と2を合わせた2023年の温室効果ガスの排出量は、前年とほぼ変わらず 2万2818 kt (CO₂e)だった。5社のうち、アムプラッツとノーザムプラチナの排出量が多いが、ノリリスクニッケル、シバニエ・スティルウォーター、イムプラッツが少なかったため相殺された。今年の排出量の変化は主に電力消費量の変化に関連しており、アムプラッツの排出量が5社の中で最大5%も増えて4290 ktCO₂eとなったのは、エスコンの電力供給が不安定だったために、機械の操業を停止や開始を繰り返さざるを得なかったことが原因だ。

温室効果ガスの排出量と排出原単位



資料: 各社の決算報告書、メタルズフォーカス

2023年の水資源利用量は前年比で9%減って409 GL

PGMの採掘及び選鉱処理は大量の水を使うため、水の安定供給は効率的な生産活動には不可欠だ。水の利用量としてPGM 生産会社が一般的に報告するのは水資源利用量、水の消費量、そして水のリサイクル量だ。

我々のレポートで取り上げた5社の2023年の水資源利用量は前年比で9%減って409 GLで、そのうち312 GLは自然の水源から引かれた。ノリリスクニッケルが315 GLと最も多かったが、それでも前年比で11%も少ないのは、水の節約のために様々な対策を導入した結果だ。5社の水の消費量も前年比で6%減って280 GL、水資源利用量の74%を占めた。水のリサイクル対策を実行したノーザムプラチナの消費量が最も少なかった。2023年の水の平均リサイクル率は81%で、明確な目標を定めたりリサイクル方針やクローズドループシステムを導入したシバニュー・スティールウォーターでリサイクル率が最も高く61%だった。

政府への支払いはバスケット価格の下落の影響で前年比30%減って53億ドル

PGM 生産会社は生産活動を行っている地域の社会的、経済的な発展を援助するために大きな貢献をしている。これには税金や採掘権料などを含む政府への支払い、地元で調達する資材費、地域コミュニティの発展を支えるプロジェクトへの支援などがある。

2023年に PGM 生産会社が政府に支払った金額は全5社で減ったために前年比で30%減って53億ドルとなった。PGM 生産量は前年と比べて変わらなかったが、バスケット価格が大きく崩れたために収益が減り、税金及び採掘権料が低くなった。アムプラッツとイムプラッツの支払いは2020年以来初めて10億ドルを下回った。両社共に税金及び採掘権料が下がり、増加した雇用税の分と相殺された。

支出の種類



資料: 各社の決算報告書、メタルズフォーカス

地元で資材を調達した費用は、アムプラッツ と ノリリスクニッケルで減ったが残りの3社で増え、全体で前年比1%減って55億ドルだった。イムプラッツ では Zimplats で拡張プロジェクトが行われているために調達費用が2%増えて15億ドルになった。地域コミュニティの発展プロジェクト支援は前年比で35%減って3億4800万ドルで、その中では教育関連のプロジェクトへの支出が最も大きく、ついで健康とインフラ整備への支出が続いた。



メタルズフォーカスについて

メタルズフォーカスは世界でも屈指の貴金属コンサルティング会社。ゴールド、シルバー、プラチナ、パラジウムのマーケットリサーチを専門とし、定期的なレポートや需給及び相場予想、特定の要望に応じたコンサルティングを提供している。

メタルズフォーカスのレポートとコンサルティングは、高度なデータ分析と詳細な現地調査の両方をもとにしたリサーチに基づく。我々のアナリストは頻繁に主要マーケットに赴き、メーカーからエンドユーザーまでを含めた関係者に取材をして直接入手した情報をレポートに役立てている。

『PGM ESG FOCUS』について

このレポートでは2015年から2022年の期間を対象とし、世界のPGM生産の9割近くを占める大手生産会社6社に対して、ESGの観点から幅広く分析を行い、読者が各社のESGに対する取り組み、及び業界全体の取り組みについてよりよく理解できることを目指した。

対象となったPGM生産会社は、アングロ・アメリカン・プラチナム（アマプラッツ）、インパラ・プラチナム（イムプラッツ）、ノリリスクニッケル、ノーザムプラチナ、Royal Bafokeng Platinum、シバニェ・スティルウォーター。

その他のレポート及びサービスについては下記までご連絡ください。

Charles de Meester, Sales Director
charles.demeester@metalsfocus.com,
Tel: +44 (0)7809 125 334

Neelan Patel, Regional Sales Director
neelan.patel@metalsfocus.com,
Tel: +44 (0) 7783 448 891